地域を守る！	▶普及啓発・人材育成	レジリエンスに取り組むコミュニティを形成する

047 こども食堂向けの防災マニュアルの作成

取組主体		
ＮＰＯ法人全国こども食堂支援センター・むすびえ		
従業員数	想定災害	実施地域
20 人	全般	全国

- 地域における多世代交流拠点である全国のこども食堂に防災力をつけるため、「こども食堂防災マニュアル」を作成。各地で同マニュアルを活用した防災研修と防災訓練を実施している。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

「こども食堂防災マニュアル」の作成と「こども食堂防災マニュアル講座」の開催

- ＮＰＯ法人全国こども食堂支援センター・むすびえは、こども食堂向けの防災マニュアルを令和２年３月に発刊した。
- 同団体は、地域における多世代の交流拠点となりつつある全国のこども食堂に防災力をつけることで、有事の際も地域の防災拠点となりうるのではないか、ひいては地域の防災力の強化にもつながるのではないかと考え、マニュアルの作成に至った。
- マニュアルは、各こども食堂の設備規模やメンバー、周辺施設や環境等についての基本情報を見直す「事前確認」に関する章、災害直後の動きのルールやリスクへの対応等を記した「災害が起きた時の行動」に関する章、「発災時にこども食堂ができること」に関する章で構成されている。
- 令和２年６月以降は、全国各地で、こども食堂の運営者と参加者、活動地域の行政職員や住民に向けて、同マニュアルを活用した防災研修と防災訓練を実施している。

こども食堂防災マニュアル

講座開催の様子

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- 愛媛県では、民生委員や自治会の方々と防災訓練を行うことで、防災という観点からのこども食堂の在り方を再認識することにより、平時にも強いつながりを作ることへつながった。

3 現状の課題・今後の展開等

- 全国のこども食堂がいざというときに防災拠点となることができるよう、研修を行うことができる講師を引き続き育成していく考えである。こども食堂と防災の両方の知識を持った講師を育成していくことが今後の課題である。
- また、こども食堂の運営者には、防災士等の資格取得の補助、防災に詳しい方にはこども食堂運営の基礎知識をつけてもらうなど、双方の理解促進の活動を行っていく考えである。

担当者の声

- 地域での多世代交流拠点になっているこども食堂が増え、運営する大人だけでなく、参加する子どもたちや高齢者の方々にも防災の知識を付けてもらえる意義のある取組だと思います。まずは近くのこども食堂へ参加するところから、こうした活動を感じてみてください。

問合せ先

特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ　法人番号：1011005007945
TEL：03-4213-4295　E-Mail：ids@musubie.org

サイト URL